

## 第155回 OSTEC 講演会 開催のご案内

<主催：(一財)大阪科学技術センター・大阪国際サイエンスクラブ>

### 南海トラフ巨大地震最新情勢

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖までの南海トラフ沿いのプレート境界で、概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。一番近い地震は戦時中の1944年に「昭和東南海地震」が起き、その2年後に「昭和南海地震」が起きました。それから77年経っています。東海エリアにおいては江戸時代の1854年の安政東海地震から169年間も起きていません。いつ発生してもおかしくないと言われる南海トラフ巨大地震。その被害は、四国や近畿、東海などの広域に及び、東日本大震災を大きく上回ると考えられています。

2023年4月、南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループが立ち上がり、2012年に国により公表された被害想定の見直しが進められています。今回の講演会では、そのWGで主査を務められている福和伸夫先生から最新情勢を含めて話題提供して頂き、巨大災害にどのように備えるのか、また事業継続と早期復旧の具体的計画策定の重要性について、会員の皆さんと一緒に再度考えたいと思います。なお、今回は大阪科学技術センタービル会議室にてご講演頂きますが、Zoomを活用したオンラインでのご聴講も可能とします。皆様のご参加をお待ちしています。

#### 記

- 日時：2023年12月5日(火) 15:00～16:30
- 場所：大阪科学技術センタービル8階中ホール
- 講師：福和伸夫様  
(名古屋大学名誉教授  
あいち・なごや強靱化共創センター・センター長  
南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ主査)
- テーマ：「南海トラフ巨大地震最新情勢」
- 参加費：賛助会員は無料、賛助会員以外は2,000円
- 申込み方法：下記をご記入の上、**11月27日(月)までにe-mailにてお申込み下さい。**

①機関名 ②所属・役職 ③氏名(フリガナ)

④参加方法「来場」もしくは「オンライン」を明記 ⑤メールアドレス ⑥TEL

○送信先:kikaku-event@ostec.or.jp (次頁にご記入の上、FAX:06-6443-5319でも結構です)

○お問合せ先：(一財)大阪科学技術センター 総務部企画室

TEL:06-6443-5316

#### 講師ご紹介

##### 福和伸夫 (ふくわのぶお/FUKUWA Nobuo)

- 1997年 名古屋大学先端技術共同研究センター 教授
- 2001年 同大学院環境学研究科 教授
- 2012年 同減災連携研究センター 教授、環境学研究科を兼務
- 2012年 同減災連携研究センター センター長(～2021)
- 2017年 日本地震工学会 会長(～2019年)
- 2017年～ あいち・なごや強靱化共創センター センター長
- 2022年 名古屋大学 名誉教授
- 2023年～ 中央防災会議南海トラフ地震対策WG 主査

##### 著書：

- 「次の震災について本当のことを話してみよう」(時事通信社)
- 「必ずくる震災で日本を終わらせないために」(時事通信社)
- 「耐震工学～教養から基礎・応用へ～」(講談社)



**e-mail:kikaku-event@ostec.or.jp**

(または、FAX:06-6443-5319 大阪科学技術センター 総務部企画室 宛)

## 第155回 OSTE C 講演会 「南海トラフ巨大地震最新情勢」

- ①機関名：
- ②所属・役職：
- ③氏名（フリガナ）：
- ④参加方法「 来場 / オンライン 」 ← いずれか選択してください。
- ⑤メールアドレス：
- ⑥TEL

\*ご連絡頂いた個人情報、本事業に関する申込みの受付、ご連絡及び当財団に関連する講演会・見学会のご案内以外には使用致しません。

